

戦争は最大の環境破壊!!

こう言ったのは、私の母です。3年前に亡くなった大正13年生まれの彼女は「戦争」に対してそういう感覚を持っていました。

学童疎開で小学生と一緒に福島にお世話になり野草を食べて飢えを凌いだり、東京の焼野原を見てきた経験がそう言わせたのだと思います。この言葉は何十年も前に聞いた言葉なので、ある意味母は時代の最先端をいていたのかも知れません。

今回のウクライナ戦争で失われているのは人命だけではありません。多くの動物達の命は勿論、ウクライナの豊かな環境も破壊されているのです。

CO₂やプラスチックにどれけ気をつけても戦争をしたらアウトです。

どれだけ地球を傷つけりゃ気が済むんだよ! このバカチン! プーチン!

憲法記念日

プーチンが核使用をちらつかせたせいで、改憲を主張する人も多いようですが、**九条に手をつけることは余りにも危険**です。アメリカに押し付けられた憲法だと主張するのなら、日米地位協定の破棄が絶対に先です。

その上で「防衛力」を高めていくのが**誇りある国としての道**でしょう。

戦後77年も経っているのに、日本の空を日本の飛行機が自由に飛べないのです。植民地状態の国が憲法を変えろということは宗主国(米国)からの圧力と考える方が普通です。九条が米国にとって都合が悪いということでしょう。日本の若者たちが米国に利用され危険に晒されるのは御免です。

2022年5月31日発行



渋谷松濤中テニス部で練習しました。子ども達の笑顔に囲まれて幸せ。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
東京青山生まれ。
新宿区立西戸山中
石神井高、北海道大
庭球部卒。

1977年新設の新座五中に赴任、3年4組を担任。新座五中・六中・二中で国・数・英理・体と**複数教科**を教える。

21年間担任をやりながら、軟式テニス部で県大会へ。硬式テニス部で関東・全国大会へ。顧問はへボでも**子ども達は強かった**。県大会は男女合わせて60回以上優勝。関東は5回、全国大会は2回優勝。

石神の「たかやん塾」には現在、小・中・高・大の子ども達が在籍している。

血液型はB型。身長175センチ、体重69キロ、体脂肪率12%。ジムのトレーニングで11%までは行くが10%台にいかない。

写真は平松大佑。埼玉県議会議員の中で間違いなく**一番フットワークが軽く、そして交渉力**のある県議です。

6月議会では・・・

まだ未定なのですが、今はこんなことを質問してみようかなと思っています。

1. 給食後の**歯磨き指導**について

子ども達の話では「先生は給食の後、歯磨きしてるけど、僕らはやると怒られる」そんな馬鹿な！調べてみようと思います。

2. 夏休みの**プールと図書館**の解放

大和田の市民プールの閉鎖が決定し、片山のプールもありません。市内小中学校の一部でいいから、市民の為に解放できないかという質問です。札幌市のように図書室を解放するのもいいですね。

3. 学校での**マスク着用**について

これから暑くなるのに屋外でもマスクをつける子ども達が多いことが問題になっています。

4. 黒目川の遊歩道を**喫煙禁止区域**にするように県に働きかけられないか。

黒目川を掃除していると、一番多いのが煙草の吸殻です。アユが遡上してくる綺麗な川は市民の財産です。

5. **ワクチン**について

治験段階のワクチンが本当に効果があるのか。市はどれだけデータを持っているのか。あるいは調べる気があるか、聞いてみたいところです。

6. **ボール遊び**ができる公園を増やして！

子ども達がキャッチボールやリフティングなど、安全なボール遊びもできない現状を変えたいのです。時間帯や曜日、約束事を決めれば出来る筈です。

いまのところ、こんな感じの質問を予定していますが、みなさんから意見があれば調整して取り上げます。LINEかメールで連絡してください。お待ちしております。🙏

先生の目4 (背中)

昔、新座六中に向井進という先生がいました。僕は赤ジャージの1年2組。向井先生は1年6組でした。そう、五中では3年の担任でスタートしたのですが、六中では1年生の担任でスタートできたのです。

六中に行って一番驚いたのは清掃指導でした。五中では掃除監督はしましたが、毎日の掃除は子ども達だけでやらせていたのです。新任の時からそうでしたから、僕も特別の時以外は一緒に掃除をしたことがありませんでした。

ところが、六中は違いました。6組の向井進と7組の斎藤一男は子ども達と一緒に毎日掃除をしていたのです。毎日です。

その**二人の背中**を見ていたら、僕も子ども達と一緒に掃除をしたくなりました。

1年2組では一番汚い外トイレの掃除を引き受け、僕も率先して便器と格闘しました。これがまた楽しかったのです。掃除監督では味わえないことを僕は向井進と斎藤一男に教わったのです。

一緒に掃除をしていると、見えてくることがあります。教室の汚れも、清掃道具の状態も。そして、何よりも**子ども達の表情の変化**が見えてきます。

掃除をやらされているのではなく、自分からやる子になっていくのです。掃除の楽しさを伝えるには「背中」で教えるのが一番です。向井進に掃除の楽しさを教えて貰った僕は、今も黒目川の掃除に燃えています。写真は**人生と掃除の師匠**、向井進とのツーショットです。🙏

